



栗 山



学 校 だ よ り
学校運営協議会だより

校訓：誠実・自律・調和

令和6年1月22日

第9号

八王子市立浅川中学校



『禍を転じて福と為す』

～生きていることに感謝し、一日一日を大切にすること意識を～

校長 市場 陽一郎

寒気に包まれた浅川中らしい冬の到来ですが、新たな年も浅川中学校は穏やかにスタートを切りました。保護者、地域の皆様、昨年同様に、本年もよろしくお願いいたします。

「明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。」年の初めのあいさつをして三学期の始業式での講話を始めました。例年ならばこの始業式での最初の挨拶として問題はないと思います。しかし、今年は「めでたい」と言えるのかを考えてしまう状況でした。新しい年の始まり、元旦の夕方、石川県の能登半島で大きな地震が発生し、多くの方が被災されました。被災地の皆さん、そのご親戚、縁者の皆さんに心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。厳冬の中、捜索活動、復旧作業、避難所の運営等に尽力されている方々には本当に頭の下がる思いです。また、多くの中学生が親元を離れ集団避難するという報道は、私たち学校関係者に改めて被災とその影響の大きさを実感させるものでした。福島移動教室で学び、感じた2、3年生はもちろん、その報告会を聞いた1年生も今回の震災への思いや考えは深いものがあったと思います。自分事として捉え、考える浅中生であってほしいです。現在、生徒会を中心に義援金募金の活動が予定されていますが、みんなで一日でも早い復興を願いたいと思います。

1月2日には羽田空港で飛行機炎上事故もあり、不安定な世界情勢も含め、今年は何か良くない年になるのではないかと考える人もいました。しかし、少し考え方を考えてみたいと思います。古代中国の逸話に由来する『禍を転じて福と為す(わざわいをてんじてふくとなす)』という言葉があります。色々な解釈がありますが、困難に直面し苦しい状況に陥っても、前向きな気持ちでいれば必ずよい方向に転換するという意味にとれます。また、良くないことが起こりそうな時にこそしっかりと心構えを持ち準備することや、後悔することなく一日一日を大切に過ごして今よりも更に充実した生活を送ることが幸福に通じるということではないでしょうか。

私は今回、福島移動教室を実施する際に行った「東日本大震災から学ぶ」という全校道徳での高尾山薬王院佐藤秀仁貫主の講話を思い出しました。そして東日本大震災直後にボランティアで被災地を訪れた佐藤貫主が教えてくださった『生きていることに感謝し、一日一日を大切に生きる』

という言葉を用い、一日一日を丁寧に生き、自分も仲間も大切にする「意識を持つ」ことによって、不安な思いで始まった2024年をもっと良い年にできるのではないかと生徒たちに伝えました。

三学期はまとめの学期です。3年生は受験もありますが4月から始まる高校生活に向けて、また1、2年生は進級し誇れる上級生となるために大切な学期となります。生徒たちそれぞれが自分と向き合い新たな目標を持ち、日々成長してくれることを期待しています。



全校道徳 佐藤貫主講話





まなびの杜あさかわ 《 浅川中学校運営協議会の広報ページ 》

第8回 学校運営協議会報告 日時：令和5年12月14日（木）19:00～ 被服室

1. 各部の報告

- ① 評価部 ・12月アンケートについては去年の内容と一緒に改善があればお知らせください。書面でもQRコード読み込んで回答でも大丈夫。期限は12月いっぱい
- ② 支援部 ・ボランティアへの年賀状作成
・家庭科ボランティア(ミシン)今月末か12月に入ってから、日程は決まっていない。
- ③ 総務部 ・部活紹介リーフレット 12/14頃
・生徒会役員との懇談会 11月27日(月)16時～
- ④ 漢検担当・10/20に試験が終わりました。インフルエンザにかかった子は別室で試験をしました。
- ⑤ 英検担当・第2回(9/29実施) 3級に1名欠席がいました。
- ⑥ 事務局 ・パパススタイル講演会 11/17(金)19時～実施しました。参加ありがとうございます。
12/13 給食試食会があります。費用 300円

2. 議題 ・学校評価アンケート 地域アンケートを実施します。2月の評価委員会にてまとめをします。

第9回 学校運営協議会報告 日時：令和6年1月12日（木）19:00～ 被服室

1. 会長あいさつ

本年度も宜しくお願いたします。能登半島の災害の中、学校の始業式が二日遅れで始まったとニュースがありました。学校の再開が優先されているニュースにあらためて役割の大きさを実感いたしました。八王子市教育振興基本計画の策定に、市内の学校運営協議会の代表として参加することになりました。学校、地域の意見を吸い上げ、発信していきたいと思ひます。

2. 各部の報告

- ⑦ 評価部 ・12月学校評価アンケート、授業アンケートの実施済 ・評価委員会 2/1(木)18時～
- ⑧ 支援部 ・ボランティアへ年賀状を発送 ・図書、Eステップ、家庭科の授業支援を3学期も実施
- ⑨ 総務部 ・部活紹介リーフレット完成 ・あいさつ運動 1/12(金)7時40分～
- ⑩ 漢検担当、英検担当 ・無し ⑪ 事務局 ・無し

3. 学校の様子など

- ① 学校長より：能登半島の災害に際し生徒の近親者等で災害に合われた方もいるので、心のケア等気を付けていきたい。また、合理的配慮を要する生徒の中で個別の対応をとっていきます。次年度の教育課程を作成中ですが、福島移動教室の3年間の実施を総括して次年度も実施したいと考えています。その他、教育課程の精選を行い次年度はカットする内容もあります。次回のこの会でお示しできると思ひます。
- ② 生活指導主任より 大野先生：トラブルなく新年度を始めることができました。寒気が厳しく、体育館などは冷え込みますが、元気に活動しています。危機感をもって防災教育を一層進めていきます。
- ③ 各学年より
 - ・1年生 小山内先生：無事にスタートを切ることができました。都内への校外学習を実施しますが、実施計画を見直し、より防災に備えた指導を重視していきます。
 - ・2年生 柴崎先生：新学期から、不登校生徒の複数名が通学するようになっています。2学期も、車いす体験、鎌倉校外学習、高尾山薬王院(精進料理体験)を学ぶ活動などを予定しています。
 - ・3年生 越後谷先生：都立の推薦出願が始まり、受験真っ只中という感じです。危険なので注意しましたが、中にはストレス発散と体力維持を兼ねて、早朝に高尾山に登る生徒もいたほどです。

4. 議題

- ・生徒会との懇談会での要望について
 - ① 校庭用の投光器の購入ー予算のめどが立てば購入予定
 - ② 私物整理用のファイルスタンドの購入ー試行で1クラス分を購入予定
- ・標準服についてー80周年に向けて、検討を始める。
- ・次年度福島移動教室の実施についてー実施予定で了承。

令和5年度 第三学期始業

令和6年1月9日、浅川中学校の第三学期の始業式を挙行いたしました。各学年の代表者による新学期に向けての決意発表の後、校長より、新年早々の能登半島の災害のニュースに触れ、特に浅川中学校の2・3年生の生徒は、福島の震災学習を進めてきた中、多くの思いを抱くことになったと思います。あらためて、いま生きていることの大切さ実感いたしました。

青少対主催 小中合同あいさつ運動



令和6年1月12日、朝7:40より、小中合同あいさつ運動を実施いたしました。とても寒気の厳しい朝でしたが、早朝から、学校運営協議会委員、青少年対策浅川地区委員会の皆様、PTAの皆様にご集まりいただき、ありがとうございました。その後、近隣の通学路に分散して、登校する生徒たちに元気にあいさつの声かけをしていただきました。この日は小中一貫連携の挨拶運動でした。生徒会本部も小学校のあいさつ運動に合流し、朝から活気のある活動でした。

青少年海外交流事業 青少年海外派遣(台湾 高雄市)

八王子市が海外友好交流都市である高雄市(台湾)を訪問して、英語で八王子や日本の魅力を発信し、現地中学生と交流をする派遣団員が募集され、応募した本校の2名の生徒が12月26日～29日に派遣されました。異文化に直接触れることで、国際理解を深めました。



〇1年 網野 心

私はこの海外交流事業でたくさんの貴重な経験をしました。まずこの事業に参加するにも書類選考に合格しなければなりません。それにチャレンジする「勇気」と合格した時の「自信」は私を大きく成長させてくれたと感じます。台湾では日本語が通じず英語で話すことになります。英語で話すことは思っていたよりも難しく戸惑うこともありましたが、意見を伝えることができ、これも一つの「自信」になりました。観光では台湾の文化を体験し学び、観光地でおいしいご飯を食べることもできました。この事業を通して出会えた仲間感謝しています。

〇2年 鈴木 英仁

台湾の人と交流できてとても楽しかったです。台湾の文化を知ることができました。日本に帰っても台湾にいる友達とSNSを通して連絡を取っています。もっと台湾にいたかったのですが、四日しかいらなくて悲しいです。また台湾に行きたいです。

生徒会が能登半島地震支援プロジェクト(義援金募集)

1月23日(火)・24日(水)朝8:00～8:20に、生徒会が各学年昇降口にて能登半島地震支援プロジェクトに賛同するかたちで義援金募集を行いました。

生徒会が環境問題に取り組み「使い捨てカイロ回収活動」

生徒会が、世界の環境問題について考え、できる活動として、昨年も実施した「使用済み使い捨てカイロ回収」に取り組んでいます。各学年の昇降口に回収BOXを設置して、生徒会便り等で呼びかけを行っています。

令和5年度 おおるり展の開催



1月18日(木)～1月22日(月)まで、エスフォルタアリーナ八王子にて、八王子市立小中学校合同作品展『おおるり展』が開催されました。本校からも、普段の授業で制作された多くの美術科の作品が展示され、多くの来場者に見ていただくことができました。この後は、展示された各学校の作品の中から、さらに選ばれた作品が「東京都公立学校美術展覧会(会期2月14日～2月18日)」に展示される予定になっています。

【展示作品】「砂絵による模写」「スクラッチによる仏画」「篆刻(てんこく)」「服飾デザイン」「ピクトグラム」「牛の角のペーパーナイフ」「和風絵皿」「自画像デッサン(鉛筆)」「上履きのデッサン(鉛筆)」

ある日の授業風景(道徳「もったいない」・保健体育「柔道」)

令和5年度も、残すところ2ヶ月あまりとなりました。底冷えする環境の中にもかかわらず、三学期に入り、インフルエンザもまん延することなく生徒たちは、元気に授業に取り組んでいます。本校の保健体育の授業では、武道(必修)として柔道を実施しています。冷たい畳の上でも、しっかりと準備運動し、ケガすることなく受け身を取っています。



学校評価アンケートの御礼

本校学校運営協議会の評価部による学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。今後の予定は、地域の皆さんにもお集まりいただき「評価委員会」を行い、結果の分析と評価を行います。その報告はまた学校だより等を通してお知らせいたします